

2020年6月2日

関係者各位

特定非営利活動法人日本ソフトインフラ研究センター

一般の次亜塩素酸水の効果に関するテレビ報道等について（説明）

[先日の報道内容について（NHK NEWS WEB より）]

## 「次亜塩素酸水」現時点では有効性は確認されず NITEが公表

2020年5月29日 18時49分 新型コロナウイルス

NITE＝製品評価技術基盤機構は新型コロナウイルスの消毒目的で利用が広がっている「次亜塩素酸水」について、現時点では有効性は確認されていないとする中間結果を公表しました。NITEでは噴霧での使用は安全性について科学的な根拠が示されていないなどとして控えるよう呼びかけています。

先日、新型コロナウイルスに対するアルコール以外の消毒方法の有効性を評価するための実証試験を行っているNITE（独立行政法人製品評価技術基盤機構）から、その結果に関する中間発表が行われました。テレビやインターネットの一部報道の中には同発表内容を「次亜塩素酸水について、現時点では新型コロナウイルスに対する有効性が確認されていない」或いは「次亜塩素酸水の効果に疑問あり」と簡略的に纏めたものが見受けられました。マスコミ報道には一部、説明が不足する表現が含まれておりましたので、以下、NITEからの発表内容につきまして、あらためて簡単に補足説明を申し上げたく存じます。

[NITEからの公式発表と、それに対する当法人からの説明]

(注記)

- ……NITEによる発表内容より
  - ★ ……それに対する当方からのコメント或いは補足説明
- ここまでに実証試験で使われた次亜塩素酸水は「24ppm(0.0024%)～50ppm(0.005%)」の範囲の濃度の11サンプル。このうち「50ppm」の1サンプルには除菌効果（99.99%以上の除菌結果）が見られましたが、残り10サンプルの除菌効果は不十分なものでありました。
- ★NITEの試験で使われた次亜塩素酸水は、これまで、人体に直接かけて利用する場合に想定されていた「50ppm以下」の濃度のものです。厚生労働省が次亜塩素酸水を食品添加物として使用する場合の指定濃度が「10ppm～80ppm」であることから考えても、「50ppm以下」の場合の効果が今回のように限定的なものであることは、(新型コロナウイルスに限らずとも)元々想定されていた結果です。私どもにとりましては、今回「50ppm」という

低濃度のサンプルからも効果が見られたということは意外な結果でありました。そもそも「50ppm」では、除菌効果が得られないことがごく当たり前の結果であると捉えております。

つまり、報道にありました「次亜塩素酸水には、新型コロナウイルスに対する有効性が確認されていない」という表現では不十分であり、「低濃度の次亜塩素酸水では、十分な有効性は確認されていない」という表現が適切であったものと考えております。

★次亜塩素酸水の用途と濃度の関係は、一般的には以下のように言われています。

- ・ トイレ室内の除菌に使用・・・100ppm
- ・ 一般的なウイルス感染防止を目的としたドアノブやスイッチ・受話器等の除菌、またごみ箱・三角コーナー等の除菌・・・200ppm
- ・ インフルエンザウイルス感染者在宅時の室内除菌や便器内清掃、風呂場のカビ取り・・・500ppm

★新型コロナウイルスの感染は「飛沫感染」と「接触感染」の二つの経路により起こることが分かってまいりました。私たちがご案内している「除菌用セット」はこの感染拡大を抑えるための啓発グッズであり、同時に「接触感染」を抑えるためのツールとして「次亜塩素酸水」を用いています。

この場合、自身の手や指等に使うことよりも、感染抑制のために自身が触れたドアノブやスイッチ、手すりや受話器 etc.を次に触れる方のために除菌することにより、感染を広げないように心がける、またこういったモラルを広げるための社会運動を起こしていくことに活動の主眼を置いております。そこで、従来から、汚れや臭いが激しい場所の除菌・消臭のために用いられてきた「200ppm」という濃度の次亜塩素酸水を採用しました。

したがって、当法人が除菌用セットにて取り扱っている次亜塩素酸水と、今回N I T Eによる実証試験で使われた次亜塩素酸水では濃度が全く異なるため、試験結果は関係ないものと捉えております。

★ 「高濃度の次亜塩素酸水」については、物の表面についたウイルス等に対する除菌効果が非常に高いことが、インフルエンザウイルスやノロウイルス等の場合に証明されていることから、その構造上、インフルエンザウイルスに近いとされる新型コロナウイルスにおいても、有効性が高いと考えて差し支えないものとされています。

[以下一般財団法人機能水研究振興財団HPより、細菌やウイルスに対する次亜塩素酸水の効果について]  
次亜塩素酸水は、各種の病原細菌やウイルスに対して高い殺菌活性や不活化活性を示します。それらの活性は、消毒用アルコールより高く、次亜塩素酸ナトリウムと同等性があります。一般的に消毒薬に対して、インフルエンザウイルスのようにエンベロープ※をもつものは弱く(抵抗性が低い)、ノロウイルスのようにエンベロープをもたないものは強い(抵抗性が高い)ことが知られています。新型コロナウイルスを含めてコロナウイルスは、インフルエンザウイルスと同じエンベロープをもつ粒子構造をもっています。したがって、次亜塩素酸水は新型コロナウイルスに対しても有効性を示すと推察できます

※「エンベロープ」とは、粒子の一番外側にある、脂質からできた二重の膜。

- ★ なお、次亜塩素酸水は、一般家庭だけでなく、医療現場や市場・飲食店その他多くの業種・あらゆる場所で有効な除菌・消毒液として用いられていることを申し添えます。
  
- 市販の次亜塩素酸水商品の中には空気中に噴霧することによって空間除菌ができると謳っているものがあるが、その有効性及び安全性は確立していないことから、加湿器などで空気中に噴霧することは控えて欲しい、と呼びかけた。
- 次亜塩素酸水の人体への安全性を評価する方法が未確立であることから、手や指、皮膚に直接かけて使用することは控えて欲しい、と呼びかけた。
- ★ これらの使用方法につきましては、当法人と致しましても、有効性及び安全性が確立されてから実践すべきものであらうと考えております。

以 上